

## 目標達成計画

作成日: 平成 H28 年 8 月 1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	12	看取りを行っておらず利用者・家族様は納得はされているものの重度化の対応には不安が残っている。また職員間の意思統一が難しく、対応レベルに開きがある	看取りや重度化対応について個々が考え、対応できるようにする。	重度化対応の一つである救急搬送については早急に救急搬送時、提出できる文書を作成する。職員の重度化対応レベルの修正は、研修の参加やGH会議を通して学び、看取りについてチームで考える場をもつ	18ヶ月
2	13	火災以外の災害についての具体的な対策が構築できていない。	防災時の地域内協力体制を見直す。備蓄食料と備品については、再度検討する	地震等の大規模災害を想定し、内容を具体的に検討する(避難経路や協力機関等の確認)備蓄品内容についても備蓄日数・品物を再度見直す。	18ヶ月
3	3	運営推進会議の参加者・内容がマンネリ化している	新しい参加者の開拓と会議内容を検討し、地域の人が参加しやすい会議をめざす	GHがよく利用する店舗の方や家族の知り合いの方などにお声をかけて認知症のこと、グループホームの事を正しく知っていただく機会をもつ	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。